

子宮悪性腫瘍に対する長期予後および臨床病理学的予後因子に関する疫学的研究 患者様情報の研究利用についてのお知らせ

本研究の目的

本研究は、名古屋大学大学院医学系研究科産婦人科で行っている研究です。名古屋大学医学附属病院で初回治療を行っていただいた子宮悪性腫瘍の患者様の診療録や画像検査データから、個人情報除外した形で、種々の臨床病理学的因子、治療内容、そして緩和ケアの内容と長期予後への影響を調査することです。その結果を詳細に分析することにより、予後予測とともに最適なフォローアップシステムの構築を目指すものです。さらに追加治療が必要な場合にはその時期や妥当性を詳細に検討し、将来の疾患管理に役立てたいと考えております。

本研究の概要

1986年1月から2018年3月までに名古屋大学医学附属病院において子宮悪性腫瘍〔子宮頸癌、子宮体がん（肉腫を含む）〕と診断された満18歳以上の患者さんを対象と致しまして、診療録（カルテ）から各種の診療内に存在する、種々の身体データ（身長、体重）、臨床病理学的情報（手術所見、病理所見）、腫瘍関連情報（進行度、治療内容）、血液検査所見〔血球数、血液生化学データ（臓器機能）、子宮悪性腫瘍に関連する血清腫瘍マーカー値（CA199, SCC, CA125, CEA）〕、画像所見（単純X線画像、CT画像、MRI画像など）を分析させていただきます。

研究期間：2013年7月25日より2018年3月31日まで

プライバシーの保護に関して

本研究の遂行に伴って患者の皆様への身体的負担はありません。また診療情報はすべて日常の診療業務の中から生み出されたものであり、研究自体を目的として収集されたデータではありません。すべてのデータは、患者の皆様個人を直接特定できない匿名化情報として収集された上、厳格に保護されます。またこれらの研究課題のすべては、名古屋大学大学院医学系研究科の生命倫理審査委員会における審査を受け承認を得られたものです。もしこの研究についてのご質問などがおありの場合は、研究責任者までいつでもご質問ください。またご自身の情報を本研究に利用することについて、ご了承いただけない場合には、以下の研究責任者にご連絡ください。なおその場合においても皆様の病院サービスご利用について不利益が生じることは全くございませんのでご安心ください。

平成25年7月25日

研究責任者

名古屋大学大学院医学系研究科 産婦人科 梶山広明

連絡先：052-744-2261（内線 2261）

苦情の受付先：名古屋大学医学部附属病院 総務課（052-744-1901）